

未来宣言

私たち J R 連合は、様々な困難を乗り越え、J R 最大の責任ある産業別組合として結成 20 周年を迎えた。

J R は人命を預かり、人々の日々の生活を支える基幹産業であることから、何よりも先ず安全の確立を最優先に位置づけるとともに J R で働くすべての労働者の負託に応えるための運動を展開してきた。

また、J R 三島会社・J R 貨物の自立経営確保に向けた取り組みをはじめとする J R が抱える政策課題に果敢に取り組むとともに、J R からの革マル派追放と J R 連合への総結集を図るべく闘いを構築してきた。これまでの 20 年間に亘る運動の積み重ねにより、J R 連合はまさに J R の代表産別に相応しい地歩を着実に固めてきたと言える。

しかし、私たちは決して歩みを止めてはならない。安全最優先の風土作りには終わりはなく、未だ山積する政策課題に対し、中長期的視野に立脚した着実な取り組みが求められる。そして何より、J R から革マル派を排除し、J R に集う全ての労働者を、一日も早く J R 連合の旗の下に総結集させなくてはならない。私たち J R 連合の真価が問われるのはまさにこれからである。

J R 連合は、公共交通として果たすべき J R の役割や目指すべきビジョン、また「絆」や「支え合い」の担い手として労働組合が果たすべき役割を再認識し、20 周年という節目を、新たな出発（たびだち）とする。そして J R の代表産別である J R 連合の更なる飛躍を果たすため、ここに未来宣言を発し、J R 連合組合員一同が団結して未来へ向けて新たな一歩を踏み出そう。

一つ。安全の確立は会社が主体で創り上げるものでなく、私たち働く者の立場から、不断に不安全事故を撲滅していくことが重要であり、その一つひとつの積み重ねが、J R の持続的な発展の礎となることを改めて肝に銘じて取り組んでいこう。

二つ。J R 総連への革マル派浸透問題を解決することによって、J R 労働界の分裂状況に終止符を打ち、J R 連合への総結集を果たすことは、J R 発足から四半世紀を迎えた時代の要請である。J R 労働界の一元化を通じて、J R 労働運動の社会的地位の更なる向上を図ろう。

三つ。将来に亘って夢と希望を持てる J R を創造すべく、J R 連合がその中心軸となって J R に関わる様々な政策課題の実現を図ることにより、J R に働く全ての労働者にとってやりがい・働きがいを持てる労働環境を創り上げよう。

四つ。すべての J R 労働者の幸せを実現するため、J R 単組とグループ労組が一体となった運動を創り、すべてのエリアにおけるグループ労組の結成とすべての J R 関係労働者の J R 連合への結集を目指そう。

以上、宣言する。

2012年6月21日

日本鉄道労働組合連合会（J R 連合）